

## 行事 Q&A

この Q&A は、行事後に師親会が実施したアンケートの中で、毎回上がる意見・質問を載せたものです。各行事には、保育園として大切にしていることや、毎年の工夫や改善を重ねて今の姿になっていることについて、広く保護者の方に知っていただきたいと思い掲載しています。

どうか、この Q&A をご覧いただき、家族みんなで楽しく行事に関わっていただきたいと思います。

理事長 小林 慈瑛

### 盆踊り（7月開催）

・毎年、金曜日開催は慌しいので、土曜日開催にできないでしょうか。

毎年保護者参加の行事は基本的には土曜日に開催させて頂いておりますが、盆踊りの開催のみ金曜日に行っております。

その理由は職員体制の問題です。この時期は夏休みを交代で取得している時期でもあり、それに加え、盆踊りにより土曜日出勤をさせると、振替休日を職員にとらせなくてはなりませんので、調整がとても難しくなります。

今後も出来る限り検討を続けていきますが、ご理解をいただきたいと思います。

・乳児はやや飽きてしまったので、花火をもう少し早めの時間にやってもらえたり、全体の時間を短めにしてもらってもいいのかなと感じました。

この事は他の行事にも当てはまると思いますが、木月保育園では、どの行事も全クラスが参加して、それぞれのクラスの子ども達が、その時々発達ごとに満足してもらいたいと考えています。そのため、運動会や発表会では、競技や演技が終了した後は自由解散としています。その後は、個々に楽しめる方はお残り頂いています。

もちろん全体の時間を短くすることは簡単です。しかし、上のクラスの子ども達のことを考えると今まで通りの時間はあった方が、子ども達の満足にもつながると考えています。

途中で花火を入れるという事も、大勢の人の移動がありますので、不可能だと思いますのでご理解頂きたいと思えます。

## 運動会（10月開催）

### ●競技について

- ・ぞう組個人競技の縄跳び回数と跳び箱段数が制限されていて残念でした。親子とも楽しみにしていたので、制限するのであれば、せめて事前に伝えて欲しかったです。

毎年ぞう組の子ども達には、集大成としての発表をしてもらおうと考えています。跳び箱に関しましては、予行練習までは3段しか飛べなかった子どもも本番には5段まで跳べるということも多々あります。その様な状況もふまえ、寸前まで様子を見ながら、個々の子どもと相談をして当日跳ぶ段数を決定しています。（ちなみに園の跳び箱は5段までしかありません）

一方、縄跳びに関しまして、子ども達が跳べる回数まで例年行っております。しかしながら今年度は、上手に跳べる子どもが多く、予行練習の時は大幅に時間が伸びてしまいました。園の理念としましても出来る限り子どもの限界まで行いたいところではありますが、時間の制約がある中での発表ですので、ご理解のほどお願いします。

- ・リレーは、赤組がインコース固定だったため、赤組有利になっているように見えました。バトン渡しが早いチームが内側に来るものではないのでしょうか。

例年、コースは固定でやっています。それは、寸前までコースが決まっていなくて多くの子どもが混乱するからです。

園としましては、バランスの良いチーム編成にするために、走る順番や赤白の入れ替え等も何度も行い、出来る限り差のないようにしています。

その中で当日どちらが勝つかは、コースの有利や不利以上に難しいのが子どもの競技です。その様な難しさを考慮頂き、方法については保育園にご一任頂ければと思います。

- ・保護者競技は、勧誘しないと参加者がいなくなったり、少なかったりするものであれば、無理にやらなくても良いと思います。また、「子どもたちの運動機能の発達を披露する」という目的からも必要性が少ないと感じます。

毎年、子ども達は保護者の皆様が頑張る姿を楽しみに待っています。

確かに、運動会の目的とは異なるかもしれませんが、保護者の皆様の頑張りを、子ども達の励みになるという事をご理解頂き、可能な限りで構いません、お力をお貸し頂ければと思います。

### ●時間配分について

- ・子どもたちの体力・気力やお弁当作りの負担を考えると、運動会をお弁当なしで午前中で終了させて欲しいです。乳児組競技をもう少しスピーディーに進行する、保護者競技や親子競技を減らすなどにより、時間短縮ができるのではないのでしょうか。

毎年、朝早くからお弁当をお作り頂き、ありがとうございます。

子ども達の体力面に関しては、それぞれ個人差がありますので、疲れてしまう子どももいるかと思えます。しかし、今後、小学校に行くと午後まで授業もあり、それに参加するための体力づくりは園としては課題と思っています。たった1日で体力はつくれるものではありませんが、午後の活動の経験をする事は決して無駄にはなりません。

また、保育園としましては、この運動会は、年に1回、日頃の子ども達の頑張りを見て頂くと共に、保護者の皆様と共に楽しむ機会としたいと考えています。お父さん、お母さんと一緒に競技に出たり、ダンスを踊ったり、1つ1つが子ども達にとって素敵な思い出になります。そして、お弁当もその1つだと思います。

体力面も考慮して、午後の競技は幾らもないかもしれませんが、是非とも保育園で過ごすこの貴重な1日を、みんなでお弁当を食べながら、ご家族の素敵な思い出作りに活用して頂ければと思います。

- ・当日の状況を見て臨機応変に対応することは必要と思いますが、お昼を挟んだ競技の順番が突然変わるのとはなるべく避けて欲しいです。

突然の変更は参加する皆様の混乱の原因になるかと思えますので、出来る限りしないようにしたいと思います。

しかし、突然の天候の変化や遅延等により、若干の変更をせざるおえない事もあります。特に遅延により、お昼ご飯の時間が遅くなると、子どもに影響が出てしまいます。そうならないようにしようとすると、そのしわ寄せがくるのは大人だと思います。お昼ご飯に近い時間に保護者競技が入っているのもその為です。

出来る限り、事前にお伝えして、皆様にご理解いただいた上で変更したいと思います。

- ・昼食時間が短くて慌しかったので、もう少し長くても良かった。

通常、1時間を考えていますが、今年度は遅延を取り戻す意味で、お昼時間を短縮し45分で行いました。

過去に時間を長くしてしまい、子ども達が走り回っていたという反省もありましたので、時間設定は難しいですね。

今後は1時間はしっかりと確保したいと思います。

#### ●会場について

- ・小学校や公園などもっと広い場所を借りて運動会を開催して欲しい。あるいは、一族の観覧者数に制限を設ける、本部席をもう少し狭くするなどしてはいかがでしょうか。

会場が狭いという声は例年ご指摘を受けていますが、園の園庭を使つての実施としてきました。それは、他の地域に保育園が増加している中での場所を借りる難しさや天候

による延期により、次回開催時に融通がきかない等の問題を考慮してのことです。

そして何より、子ども達にとって良いことを1番に考えているからです。普段から慣れた場所で開催する事で、子ども達はおもいきり力を発揮できます。保護者のための運動会ではなく、子どものための運動会にしたいと思っています。

また、入場制限に関しましても、日頃より両親以外のおじいちゃんやおばあちゃんのお力を借りて、子育てを行っている家庭もたくさんあります。両親と同じ様にこれらの方々をご招待し、共に子ども達の成長を見ていただく機会にしたいと思っておりますので、どうか、譲り合いの気持ちを持って、ご参加頂きたいと思っております。

- ・ビデオ席の譲り合いが出来ていなかったのが残念でした。木月小学校方式で、競技が終わる都度強制的に全員退場→次の競技の親のみ入場可とした方が良いと思いましたが。

毎年、ビデオ席にはビデオ撮影以外の方も利用しているのかと思います。高齢の方やお身体が悪い方等、色々な方を拝見します。その様な人を受け入れる事が出来る場所がこの席なのだと思います。

「思いやりシート」と称してりす組の部屋も開放していますが、やはり、利用のし易さから、多くの方がこのビデオ席に来てしまいます。

園としましてはやはり、常識ある方が大半だと思っておりますので、どなたも譲り合い、活用して頂きたいと思っておりますので、今まで通り行っていきたく思います。

- ・入場行進がぞう組さんから入ってくるので、乳児の子たちの行進や木月体操が見えなくなりました。入場の際にひよこ組から入場するなど、全クラスの入場が見えるようにして欲しい。

この件に関しましては、何度も園内で検討しています。例えば、0歳児から入場するとまず始めに多くの保護者を見ることとなります。すると、練習との違いから、いつも通りに参加できなくなってしまう。反対に、上のクラスから入場する事で、下のクラスにとってはお手本となります。

その様な理由から現時点では、乳児に負担なく開会式を始める事を優先して、今の様な形で行なっています。どうか6年間お待ちいただき、年長児の立派な行進を楽しみにして頂きたいと思っております。

- ・かけっこのゴールの位置が遠いので、ゴールを観客席側にして欲しい。

運動会に来て頂けるのは保護者の方だけではなくありません。多くの来賓の方もお見えになります。保育園は地域の方のご理解の上で、今の様な行事も開催する事が出来ています。時には園のためにと助けてくれることも多々あります。地域の方のお陰で、何事も

なく保育園を運営できていると思っています。

その様なことから、保護者の方は身内と考え、年に1度の運動会に来賓の方をご招待をして、1番見やすい位置にゴールを持ってきております。

●その他

- ・クラス競技の時に、カメラマンが競技中のクラス席の目の前で撮影していてとても見にくかったです。カメラマンがビデオ席前で撮影していることもあったので、せめてビデオ席前はカメラマンの立ち入りを制限してください。

今現在お願いしています写真会社のカメラマンは、いつもお子様の最高の笑顔を撮ろうととても熱心な方が多いです。その一方で、当日はじめて園に来るカメラマンも多いので、園のクラスや配置面もあまり理解していない人もいます。

そもそもカメラマンを入れたきっかけは、保護者の方に、カメラのレンズを通して我が子を見るのではなく、肉眼で生の姿を見てもらいたいと思ったのがきっかけです。

是非とも、写真はプロに任せて、我が子の成長した姿を、目と心に焼き付けていただきたいと思います。

- ・8:20 くらいから開門を待つ行列が外まで伸びていたため、早めに開門して欲しかった。また、8:30 になっても先生がいらっしゃらず、入っていいのか判断できず非常に困った。開門 15 分くらい前から先生には待機していて欲しい。

職員は早朝早くから準備をして、1 分でも早く開場出来るように努力しています。また、同じように役員さんやお手伝いのお父さん方も頑張ってもらっています。

しかし、どんなに頑張っても、8:30 に開場するのが限界ですので、早めに来ていただいても、職員が事前に対応するのはとても難しいです。

どうか早めに来て良い席を取るのではなく、時間ちょうどにお越し頂き、役員さんの誘導の元、譲り合って席を確保して頂きますようお願いいたします。

- ・今年は、昼食時にお菓子を配っている園児が例年より多く、アレルギー児をもつ親としては怖かった。各組でルールが違おうようで保護者が混乱している様子も伺えたので、各組での独自ルールではなく園としてのルールを設けて欲しい。

園としましては、行事のお菓子配りは大切な経験だと思っています。それは、アレルギーを持っているお子様がいる家庭にとってもです。

今まで、役員会等でも同様の意見が出て、お菓子配りを園として禁止にしてほしいという要望もありました。

では、アレルギーを持っている子どもは、アレルギー食品を見分け、判断を下す力はいつ、どの様に付けていけば良いのでしょうか？この様な力がつく様に、保育園では給食の時に、他の児童と分けて提供して、時間をかけて個々の理解に合わせて伝えています。しかし、お菓子配り等の機会は今後、小学校に行っても多くあります。その時、始めて経験したのでは間違いが起こるかもしれません。その様な事が起こる前に、まずはご両親が近くにいるこの様な機会に体験して、何が大丈夫で、何がダメなのかの約束を、是非ともご家庭ごとに作ってもらいたいと思っています。

## 木月まつり（11月25日開催）

- ・開催時期はこのタイミングが良いのでしょうか？イベントが続いている時期なので、先生方の負担が大きいのではないかと少し気になりました。

園としましては、この時期に開催して頂くとありがたいです。

確かに行事が重なり、保護者の方の負担もあるのかと思いますが、子ども達が園生活になれ、色々な事に興味を持ち始めているこの時期が、子ども達にとっても参加しやすい時期だと思います。

- ・職員劇はとても楽しめましたが、先生方の負担になっていないか心配です。先生方にはプライベートの時間や自己研鑽の時間を十分に取っていただきたいです。

職員の劇はいつまで同じように続けられるかはわかりませんが、今は職員同士で自分の特技を発揮しながら、楽しんで取り組んでいると思います。

また、個々の自己研鑽のための研修も、外部の研修に派遣して学んでおります。国からも保育の質の向上がうたわれていますので、これからも出来る限り研修を積んでいきたいと思っています。

## その他

- ・4月の入園式・進級式を第一（土）に固定にするか、新入園児の保護者のみの出席にしてほしいです。4月1日の平日は入社式などがあり、毎年休暇を取るの難しく肩身が狭い思いをしています。

毎年4月1日は、皆様と共に顔を合わせ貴重なお話ができる機会と思っております。日程等は今後も検討していきたいと思っておりますので、どうかご理解の上、ご参加ください。

以上